

ひろげる つなぐ かえる

2014

5

2014年4月25日発行
通巻185号



P1-2 熱中手帖。

-これまで×これから- Vol.22

特定非営利活動法人 海の達人

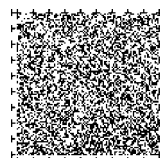
理事長 大野木 博久

P3-4 三重ぐるり～みえの市民活動～

今月のテーマ：保健・医療・福祉に関わる団体

- P5 募集のご案内、助成金情報
- P6 クローズアップ協創のヒント集、活動のぞき見隊
- P7 マイNPO物語、NPO・ボランティア私の一冊 ほか

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



熱中手帖。

—これまで×これから— vol.22

めぐみ豊かなふるさとの海
人々が楽しく安全に
関われるために！

特定非営利活動法人 海の達人

理事長 大野木 博久

海へのバリア・障がいへのバリアを 取り除く「海のバリアフリーまつり」

海と福祉をつなげる活動が積極的に行われていますね

そうですね。しかし、もともとは福祉や障がい者というテーマにこだわっていたわけではないんですよ。私たち「海の達人」は、海に関する事業を行い、すべての人々が自然に親しみ健やかに暮らせる地域社会づくりと、スポーツの振興に寄与することをミッションとしています。1人でも多くの人に海の活動に参加していただき、海を身近に感じてほしいという想いがあります。三重県はたくさんの海に囲まれています。教育現場を始め、海の活動には消極的なところがあります。それは事故などのマイナスなイメージがあるからかもしれないし、海に恵まれ過ぎているため海があることが当たり前になっているからかもしれません。私たちは、とても環境の良いところに住んでいます。多くの人に海に親しんでもらう機会をつくり、自然を体験していただくことは、きっと今の、そして未来の子どもたちにとっても大切なことだと考えています。そういった想いの中の1つとして「海のバリアフリーまつり」や「セイラビリティ活動」も行っています。海のバリアフリーまつりは、よく障がい者の方のイベントだと勘違いされます。タイトルの影響が大きいかもしれませんが、障がい者以外の方が参加していいのかどうか迷うそうです(笑)。バリアフリーとはハード面のことではありません。障がいの有無に関わらず、その境目にあるバリアを取り除きましょうということ。みんなで一緒になって遊んだ方が面白いですよ。

「海のバリアフリーまつり」は、今年で9回目を迎えます。毎年9月の土曜・日曜（今年は9月20日・21日）の2日間で開催し、延べ1500人ぐらいの方にご来場いただきます。ボランティアの方は2日間で延べ150人。会場の整理やライフジャケットの着脱の手伝い、看護師の方には救護所の担当をお願いしています。昨年は天候が悪く初日のみの開催となりましたが、海へのバリア、障がいへのバリアを取り払うとっても楽しいイベントです。

イベントの中で苦労している点は人集めですね。障がい者の方は、施設に声をかけるとみんなが面白そうだと思って来てくれます。しかし、そうでない方の来場が難しく、知らせる手段に困っています。また、たとえチラシをみても「バリアフリーまつりって障がい者の人のためのイベント」と思われてしまうこともあります。飲食以外はすべて無料で、大型のヨットや船、カヤックやディンギーに乗ることもできます。ぜひ参加して何か1つでも体験していただけたら嬉しいですね。

障がい者・高齢者・子どもたちに マリンスポーツを通じて 伊勢の海のよさを伝えたい

「セイラビリティ活動」について教えてください

「セイラビリティ活動」は、障がい者のためのセーリング支援活動としてイギリスで始まったものです。自分自身でヨットを操作することを通じて、障がい者をはじめ、子ども、高齢者の自立心と自信を生み

出すことができると評価を得てきました。マリンスポーツを通じて伊勢の海のよさを再認識してもらいたいという想いと、障がい者を含む青少年、子ども、高齢者が楽しく活動できる場をつくりたいという思いからマリンスポーツを愛する仲間たちが集結し、2002年にセイラビリティ伊勢、2006年にセイラビリティ津、そして2007年には新たにセイラビリティ河芸&AJUが発足しました。伊勢湾内をフィールドに、活動の輪を広げています。セイラビリティ河芸は、セイラビリティ伊勢&津とともにそれぞれの拠点での活動に加え、互いに交流、協力関係を結んでいます。3カ所どこの会員になっても互いに伊勢、津、河芸の練習会、乗艇会に参加することができます。

セイラビリティ河芸では、5月から11月の期間、毎月2回、第2・第4土曜日に行っています。毎回20～30人程集まり、アクセスディンギーというヨットに交替で乗ります。ヨットに乗る楽しさ、海の遊びの面白さを伝えていきたいと思っています。

多様ないきものが生息する干潟での活動 「田中川干潟」での活動も精力的に行われていますよね？

「海の自然体験教室」として田中川干潟の観察や清掃も行っています。地元の人はあまり気にしていませんが、田中川干潟は三重県で2～3カ所しかない非常に貴重な潟湖なんです。三重県の県鳥でもあるシロチドリや、県の天然記念物に指定されているハクセンシオマネキが生息しています。たまにアカウミガメが産卵にもきます。地元の研究家が干潟の生物を調べ、いただいたデータを私たちでまとめたものが「田中川干潟とその周辺の生き物」という資料です。本当にたくさんの種類の生物がいるんです。この資料を子どもたちに渡して、干潟の観察をしてもらおうと、資料に載っていない生物を見つけてくるんですね。載っていないなぁと研究家に見せると「こんなまでおったんやな。次回の時は付け足すわ」と。それを子どもたちに話すと喜んで、さらに資料に載っていないものを探してこようとします（笑）。

清掃に関して、私たちは河芸町の漁業協同組合と

連携し「マリン塾河芸」という組織を立ち上げ、干潟の掃除を行っています。まだ5分の1程度しか掃除できていないのですが、冷蔵庫やテレビなど、堤防から家庭ゴミや家電を捨てられるので、ゴミ処理代だけでも大変な金額になります。長い間、掃除をせずにゴミが溜まっていたので、さらにゴミを捨てていくのだと思います。ゴミがゴミを呼ぶのかもしれませんが。幸いキレイにした部分にはまだゴミが捨てられていません。どこまでキレイにできるかわかりませんが、できる限り美しい干潟にしたいと思います。

また、田中川干潟を調べていると、昭和28年に「伊勢の海県立公園」に指定されていたことがわかりました。ここは県立公園だったんだということがわかり、県の方に船の残骸など素人では動かせない大きな物の処理をお願いしましたが、予算的に難しいとのことでした。田中川の河口も閉塞^{へいそく}してきて、浚渫^{しゅんせつ}しないと私たちの船も通れない状況だったので、自費で浚渫作業を行いました。民間だけでするのは限度がありますし、一時しのぎにしかならないので、今後どのようにしていくのかは課題の1つですね。

* 海底・河床などの水底土砂を、水深を深くするために掘削すること



昨年の「海のバリアフリーまつり」のようす



海の上でのパン食い競走

DATA

特定非営利活動法人 海の達人

事務局住所 〒510-0303
三重県津市河芸町東千里 854-3
株式会社マリーナ河芸内
T e l 059-245-5001
F a x 059-245-5002
ホームページ <http://www.umi-tatsujin.net/aboutus.html>

代 表 者 理事長 大野木 博久
団体設立年月日 平成 18 (2006) 年 7 月 27 日
会 員 数 88 名
会 費 入会金 1,000 円
年会費 10,000 円 (正会員)



三重県内で魅力ある活動を行っている市民活動・ボランティア団体等を県内各地域の市民活動（支援）センター等の協力を得て、ご紹介します。

今月号で紹介するのは、活動分野別では最も団体数の多い“保健・医療・福祉”に関わる団体です。高齢者を対象とした認知予防に関する活動や、日本における貧困問題と向き合う活動、地域の医療を守るために市民と医師の関係を見つめ直す活動など多種多様な活動があります。三重で保健・医療・福祉に関わる団体は・・・？

今月のテーマ

保健・医療・福祉に関わる団体

北勢地域

認知症予防ボランティアかのかん

情報提供：特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター

認知症の方、認知症予防が必要な方々が続々と増えている現状を目の当たりにしていた昨今、認知症予防のひとつ、スリーA（明るく、頭をつかって、あきらめない）というプログラムに出会い、ひょっとしたら早い段階で予防を図っていたら、認知症はくい止められるかもしれない、悪化を先送りできるのかもしれないという思いがつのりました。何かしたい！何かできないか！と仲間と相談していくうちに、熱い温かい思いの仲間たちが次々と集まりました。これからも多くの人と共に、認知症予防に取り組んでいきたいと思ひます。



認知症予防の運動を伝えています。

ひとことPR! スリーA（明るく、頭をつかって、あきらめない）をモットーに…優しさのシャワーを広めます。

☎ 090-7604-3184
(代表 畑中)

北勢地域

鈴鹿市母子寡婦福祉会

情報提供：鈴鹿 NPO サポートセンター

ひとり親（母子、父子、寡婦）家庭を応援しています。会員相互の親睦を図るために、12月は「講演とものづくり」、3月はボーリング大会を開催しました。また、鈴鹿市長との懇談会を行い、ひとり親家庭が生活する上で困っていることへの行政からの支援をお願いしました。現在、ひとり親家庭の日常生活への支援事業を行っています。例えば、子どもを預かってもらうところがない、ちょっと子育ての応援をしてほしい、そんな方に支援員がお手伝いをすることです。支援員は、研修を終えたひとり親家庭のOBが担当しています。一度ご相談ください。



会員ボーリング大会の様子です

ひとことPR! 創立65周年を迎えさらに前進するのみに頑張っています。

☎ 059-385-4832
(鈴鹿市母子寡婦福祉会 会長北野好美)

伊賀地域

伊賀の地域医療を守る会

情報提供：特定非営利活動法人 なばり NPO センター

伊賀の地域医療を守るために、市民の立場で今できることを考えようと、2010年12月に立ち上げました。医師が来なくなる地域を目指して、また、医師が伊賀地域を離れていってしまわないよう、私たちがすぐにできることは、診察後に「ありがとう」と伝えること。人と人との関係は、感謝され、感謝して成り立っているのだと思うのです。会としては、他地域の事例を勉強したり、シンポジウムを開催したりして、コンビニ受診の防止や地域医療の現状を訴え、病院と住民が理解しあえる土壌を築き上げていきたいと考えています。

当会のロゴマークです



ひとことPR! ドクターや看護師さんに、一人ひとりが「ありがとう」を伝えよう！

☎ 0595-23-6063
(事務局)

中勢地域

健康体操 百寿グループ

情報提供：津市市民活動センター

1992年、津市中央公民館の自主講座とさわやか体操の計10グループが結集し「健康体操 百寿グループ」の活動がスタートしました。平均年齢70歳。日々の練習の成果を「大きな花のように育てたい」との願いを込め、「100歳になっても元気に頑張ろう」を合言葉に、「津まつり」や「台湾ランタンフェスティバル」など各種イベントに参加しています。2010年には「津市教育功労者」賞を受賞いたしました。

地域のイベントでよさこいを踊る



ひとことPR! 津センターパレスの公民館や市民活動センターを中心として練習しています。

✉ hyakuju@cream.plala.or.jp
http://www.strikingly.com/hyakuju

中勢 地域

健康を持続する会「歌ん笑ん舎」

情報提供：津市市民活動センター

月2回、津センターパレス地下の市民オープンステージに集まり、童謡・唱歌・懐メロ・ラジオ歌謡など、身近にある懐かしい名曲を中心に歌っています。深呼吸、発声練習などで身体をほぐし、懐かしい曲に想いを馳せることで精神面のリラックス、大きな声を出すことでストレスを発散するなど、本来の健康を目指しそれを持続することを目標としています。また、季節のイベントなどを通し会員同士の交流、親睦も深めています。おおむね75歳以上対象ですが、誰でも参加できます。



今日も気持ちのいい声が響きます

ひとこと PR! 歌声と笑い声の絶えない元気で明るく楽しい空間。仲間の輪が広がっています。

059-231-4649 (松岡)

南勢 地域

コープみえ「くらしたすけあいの会」

情報提供：いせ市民活動センター

私たちは、「皆で助け合って、豊かで自立した生活を続けていけるように」と願って活動をはじめました。以来10余年、利用は有償ですがボランティア精神に基づいて「困ったときはお互いさま」をモットーにくらし(家事、育児、庭の手入れ等)の支援活動を行っています。「支援する方」も「される方」も対等平等な立場で、それぞれの役割を果たせるよう努めています。会は、生協の福祉活動としての自主的、自律的な組織で、運営面の費用やコーディネーターの活動費は会員の「年会費」と運営費(利用料+活動費)で賄っています。



会員の交流会

ひとこと PR! ボランティアに興味のある人。私たちといっしょにくらし手助けをしてみませんか。働き手の心があれば資格はいりませんよ。

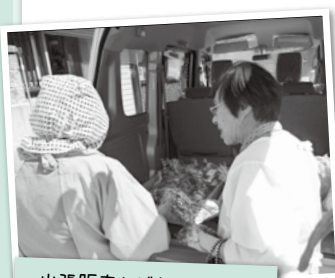
伊勢市常磐町 75-1
☎ 0596-28-1867 (横山 公子)

東紀州 地域

株式会社 やきやまふあーむ

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

2009年に指定就労継続支援A型事業所として設立され、農業を中心に地域の皆様と共に、元気いっぱい日々頑張っております。限界集落における、古新聞やダンボール等のリサイクルの無料回収、朝採れたて新鮮野菜の移動販売等を行い「来てくれる日が待ち遠しいよ」とまで言って頂けるようになりました。



出張販売などしながら、地域のひとと交流をしています

ひとこと PR! 障がい者、健常者も働く上において、同じ立場で業務に取り組んでいます。今後もお客様に笑顔をお届けしていきます。

☎ 0597-28-8007
FAX 0597-28-8009
✉ info@yakiyamafarm.com

中勢 地域

松阪・生活と健康を守る会

情報提供：松阪市市民活動センター

“生活と健康を守る会”は、1950年代に市民生活の向上、福祉の充実を目指し、それまで草の根の活動をしていた団体が集まり設立した全国組織です。全国各地に会があり、県内では四日市、津、松阪、伊勢、伊賀などで活動しています。「松阪・生活と健康を守る会」にはおよそ300世帯の会員が所属。会では「低所得」「生活保護」などの問題と向き合い、そうした人たちが最低限の生活を営むために必要な社会保障制度の知識を勉強会などで共有したり、申請書類の書き方などを会員相互で学びあったりしています。「困りごとの何でも相談所なんですよ」と会長の内田さん。会員以外の相談も受け付けており、事務所には日々多くの相談事が持ち込まれています。



ひとこと PR! 困っていることは、困っている人にしかわからない。その人たちの力になることが私たちの活動です。

☎ 0598-23-4515

南勢 地域

松ぼっくり

情報提供：志摩市民活動通信 sanpo

「松ぼっくり」は志摩市福祉計画策定に集った「福祉夢まちづくり委員会」のボランティア部会、過ごし場部会、移送部会の有志が、身近な実践活動を目指して生まれ、もうすぐ10年になります。小民家でのお年寄りの過ごし場づくりから始まり、手作り弁当の配達などを通じて、閉じこもりがちなお年寄りの自宅への訪問活動に軸を移してきました。

現在は、特に災害弱者のための防災家具固定や家庭用火災警報器取り付けのボランティアに力を入れています。

手づくりの市民活動ですが、地域で地域を支えていく一助になればと願っています。



夏の日の思い出

ひとこと PR! 「松ぼっくり」は小さな夢の種の集まりとの想いです。自分たちで出来ること、一緒に始めませんか？

✉ mazbo96@gmail.com

昨年7月号より、三重県内の市民活動・ボランティア団体等を紹介してきました「三重ぐるり」ですが、来月号よりリニューアルのため休載させていただきます。

リニューアル後の「三重ぐるり」もよろしくお願い致します。



募集とご案内

【お知らせ】

本コーナーは誌面リニューアルのため、7月号を最後になります。
お寄せいただいた情報は弊センターホームページでのご紹介のみとなります。

—NPOを交えて— NPO入門講座

そもそも NPO とはなに？ 非営利とはどういうこと？
ボランティアと NPO の違いってなに？ NPO と NPO 法人はどう違うの？ … という方におすすめ。実際に活動している NPO の方をお招きし、お話を聞きします。

- 講師** 名古屋市市民活動推進センター職員
ゲスト 中西 里映子 氏 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 常務理事
日時 5月9日(金) 14:00～16:30
場所 名古屋市市民活動推進センター
参加費 500 円 **募集人数** 50 名 ※先着順
応募方法 講座名「NPO入門講座」と「氏名(ふりがな)・電話・Fax 番号・参加の動機・所属団体名」を明記し、E-mail、Tel、Fax または直接窓口にて申込み。
問合せ先 名古屋市市民活動推進センター
 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目18-1
 ナディアパーク デザインセンタービル 6 階
 Tel 052-228-8039 Fax 052-228-8073
✉ npo@shiminkeizai.city.nagoya.lg.jp
HP <http://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/npoinfo/jigyo.html>

ことすが 土清まつり

- 日時** 5月10日(土) 9:40～12:00
場所 谷川土清旧宅およびその周辺
内容 **第1部** 9:40～10:30
 尺八演奏…奏者: 萩野霞山氏 日本尺八連盟所属、谷川土清の会会員
 曲目: ①独奏尺八のための詩曲 ②南国土佐を後にして 他
第2部 10:40～12:00
 お茶会…土清の茶室「狸庵」を偲んで ※呈茶券 300 円
 史跡巡り…反故塚・谷川神社・福蔵寺
問合せ先 谷川土清の会 Tel 059-261-1464 (馬場)

第30回乳がん検診啓発運動 「母の日キャンペーン」

- 乳がん体験者の会「あけぼの会三重支部」の会員が、乳がん早期発見のための検診を呼びかける街頭活動として、自己検診の方法などを記したティッシュを配ります。
日時 5月11日(日) 12:00～13:00
場所 JR 津駅前交番付近
問合せ先 乳がん体験者の会「あけぼの会三重支部」
 Tel 090-1289-0405 (加藤)
✉ kitakuroda65sk@ezweb.ne.jp

やさしい社会フォーラム 2014

「コミュニティから展がる持続可能な社会」

- ドイツでは伝統的に自分たちが街づくりの担い手、という
 気風があり、いまドイツからはじまってヨーロッパ各地で、
 エネルギーや食糧などを地域で生み出し、さらに各地どう
 し広くネットワークしながら生かし合う、そんな動きが始
 まっています。私たちも自らの足元に持続可能な社会を生
 み出していきませんか!!
【環境先進国ドイツに学ぶ 話し合いからのまち・むらづくり】
講師 エグハルト・ハーン 氏 ドルトムント大学教授
【持続可能社会はコミュニティづくりから】
講師 内藤 正明 氏
 (特活) 循環共生社会システム研究所 代表理事・京都大学名誉教授
日時 5月17日(土) 14:00～16:00
場所 鈴鹿カルチャーステーション(鈴鹿市阿古曾町 14-28)
参加費 1,000 円
応募方法 「氏名(ふりがな)・性別・所属・住所・電話番号・メール
 アドレス」を明記し、E-mail または Fax で申込み。
主催 (特活) 鈴鹿循環共生パーティー、(特活) 循環共生
 社会システム研究所
問合せ先 (特活) 鈴鹿循環共生パーティー
 Tel & Fax 059-389-6603 (片山)
✉ herokatayama@gmail.com
HP <http://www.suzuka-jp.org/>

めずらしくて、きれいなトンボを観察するチャンス! ヒヌマイトンボ観察会

- 宮川浄化センターで行われているヒヌマイトンボ生息地
 のミチゲーション(保全措置)について簡単な説明を聞き、
 ヒヌマイトンボを観察します。
講師 渡辺 守 氏 筑波大学大学院生命環境科学研究科 教授
日時 6月28日(土) 10:00～12:15 ※小雨決行
場所 宮川浄化センター(伊勢市大湊町 1126)
持ち物 タオル、水筒、筆記用具、雨具、服装…帽子、長そで、
 長ズボン、運動靴
募集人数 30 名 ※先着順、参加費無料
応募方法 郵便、Fax、E-mail のいずれかで、講座の名称「ヒヌ
 マイトンボ観察会」、氏名、郵便番号、住所、電話番号、
 中止の場合の連絡用に携帯電話番号、Fax 番号を連絡。
応募締切 6月13日(金)
問合せ先 三重県環境学習情報センター
 〒512-1211 四日市市桜町 3684-11
 Tel 059-329-2000 Fax 059-329-2909
✉ info@eco-mie.com
HP http://www.eco-mie.com/kouza/26/tonnbo26_kansatukai/index.html

助成金情報

助成金情報は、弊センターホームページでも多数ご紹介しております。

HP <http://www.mienpo.net/center/>

- ・三重県産業支援センター 平成 26 年度 みえ農工商連携推進ファンド助成金募集(分野:経済活性化) 5月16日(金) 17:00 必着
- ・安藤スポーツ・食文化振興財団 自然体験活動支援事業「第13回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」(分野:子ども) 5月17日(土) 必着
- ・高原環境財団 緑化を伴うヒートアイランド対策と子供たちの環境学習活動 助成 5月23日(金) 必着
- ・中央共同募金会 赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」第14次助成 5月27日(火) 必着
- ・ニッセイ財団 平成 26 年度高齢社会助成～地域福祉チャレンジ活動助成 5月31日(土) 当日消印有効

クロズアップ

協創のヒント集

県民が力を合わせることによって、地域社会で「今までできなかったことができるようになる」ために大切なヒントを毎月ご紹介いたします。

ヒント 11 中間支援団体の機能を高める

【ヒント 11】

市民活動団体の多くが、組織運営、資金調達、事業遂行等の相談に乗ってほしいと考えていますが、その役割を果たすべき中間支援団体は、人件費もぎりぎり、中間支援団体と名乗ってはいるものの、本来の機能が果たせていないことが多くなっています。中間支援団体は、自らの組織を維持するために、本来なら支援すべき他のNPOと競って公的資金を獲得せざるを得ないことが多く、それを反映してか、中間支援団体とはどんなものか知っているNPO法人は、わずか36%に過ぎないという結果が出ています。

中間支援団体は、地縁団体等とも連携し、市民活動団体の発展のために、市民の立場から支援する団体であるべきです。また、行政、企業などとなつて役割も持っており、新しい公共において、極めて重要な役割を担うべき存在です。このような中間支援団体は、目的が市民活動団体の支援であるため、財源に乏しい市民活動団体からは資金を得にくいという特色があります。中間支援団体が、本来の機能を果たすことができるためには何が必要なのか、財源を含め、中間支援団体をめぐる環境整備について、研究及び実践を進める必要があります。

【ヒント 11 の事例】

- ① 中間支援団体に特化した「中間支援団体のあり方に関する研究会」(全県) **実施主体** 特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター(NPO)
- ② ボランティアとNPOの一体支援「とういんボランティア市民活動支援センター」(東員町) **実施主体** 東員町社会福祉協議会
- ③ 地域コミュニティ組織とNPOの一体支援「伊賀市市民活動支援センター」(伊賀市) **実施主体** 伊賀市市民活動支援センター(行政)
- ④ 「美し国おこし・三重」地域担当プロデューサーによる出張型の市民活動支援(全県) **実施主体** 三重県(行政)、県内中間支援団体(NPO)

引用：「夢をかたちにするまちづくり～「新しい公共」のヒント集～」(三重県・新しい公共円卓会議／2013年3月発行)

活動のぞき見際 Vol.10

NPOの活動、団体のサポートなどのNPOに関わりのある活動ってどんなことをしているのでしょうか？その活動現場で活躍するスタッフのある日の一日を紹介します。

今回は、現代社会で希薄になったコミュニティを再構築し、人と人がつながる仕組みづくりのコーディネートに取り組んでいる特定非営利活動法人三重ドリームクラブの代表理事である加藤久さんに密着しました。三重ドリームクラブでは、紙などを使って自分の甲冑をつくる「手作り甲冑教室」、津まつりの「高虎時代絵巻」の運営受託、ゆるキャラ「藤堂とらまる」の運営などを始め、さまざまな活動を行っています。地域を盛り上げるため年間50日以上ものイベント参加や企画運営をしています。

HP <http://dreamclub.sub.jp> 連絡先 059-271-0078

特定非営利活動法人 三重ドリームクラブ

代表理事 加藤 久さん

三重県久居出身、津市在住。1996年に異業種交流会などを開催する若者向けサークルを設立。2002年にNPO法人三重ドリームクラブを設立。「津まつり」で何かしたいと思い市役所へ相談。ゴミ拾い、和船山車の運送係りなどを経て高虎時代絵巻を受託。平成24年度津市文化振興審議委員。



13:00 手作り甲冑教室



紙を使って自分の甲冑をつくります。進行は担当者が行います。

13:30 事務作業



甲冑教室が開催されている時間にオフィスで事務作業を行います。

イベントの1シーン

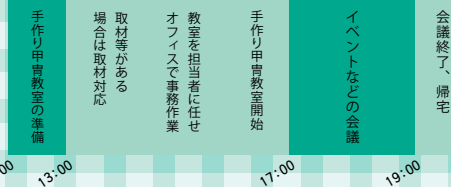


自らが作った甲冑をまわってイベントに参加します。イベント終了後は記念撮影。



15:00 取材対応

取材のある日はその対応もします。



【情報を提供していただく皆様へ】

- 1 「募集とご案内」のページはニュース誌面リニューアルのため7月号を最後になくなりますが、弊センターホームページではご紹介しておりますので、引き続き情報をお寄せください。
- 2 有料でチラシの折込みもお引き受けしておりますので、お問い合わせください。

ホームページ 原稿用 フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net Fax 059-222-5971

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保で融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>

“地域とともに みなさまとともに”



三重銀行



特定非営利活動法人広河隆一非核・平和写真展開催を支援する会

(正会員41名、賛助会員800人)

事務局 宮西いづみさん (津市在住)

プロフィール

三重県出身。1939年生まれ。戦後民主主義教育一期生。他にも「三重・チェルノブイリ被曝児童救援募金」、「フォトジャーナリズム展三重」、「みえ426の会」で活動。



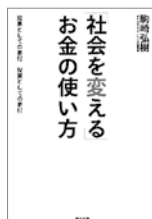
1986年4月26日のチェルノブイリ原子力発電所の事故による子どもたちの被害は3年ほど隠されていました。それが伝わってきたとき、いち早く立ち上げられた牧師さん夫妻の呼びかけで1990年6月に「三重・チェルノブイリ被曝児童救援募金」が誕生し、今に続いています。当初、救援金の届け方に苦労していた時、西側ジャーナリストとして一番早く現地入りした広河隆一氏と出会い、集った募金を葉に代えて広河氏に託したり、一緒に現地に届けたりしました。一方で、広河氏の取材写真を使って情報提供する「チェルノブイリと核の大地写真展事務局」が埼玉の団地で生まれていました。事故から10余年後、その写真展事務局が諸事情から閉局することになったとき、偶然その会議に居合わせたので、「この写真資料は貴重な歴史資料、これからも活用したい」と三重に持ってきました。以来、広河氏の他の取材も含めて、三重でパネル化して維持管理することになり、「広河隆一非核・平和写真展開催を支援する会」として、2004年にNPO法人の認証を取得しました。

活動内容は、その写真パネルを貸し出しすること、依頼があれば撮影現場の状況を伝えることです。多い時は年間170カ所で開催されており、今は90カ所程です。国内だけでなく海外にも貸し出しています。この事務局を担い続けるエネルギーは、ただただ「世界の子どもたちが殺しあう戦争や、放射線被曝の不幸を子どもたちに押しつけない」という思いだけです。



NPO・ボランティアのしるし

みえ県民交流センターの図書・資料コーナー等から、スタッフがおすすめするNPOやボランティアに関するさまざまな書籍類をご紹介します。



「社会を変える」お金の使い方

英治出版

駒崎弘樹

2010年12月25日

みなさんは「寄付」をしたことがありますか？正直私は、片手で数えられるくらいしか「寄付」をしたことはありません。だってお金がないんですもの。でも世の中には何百円何千円と少額から、中には何十万円何百万円と大金を個人で「寄付」をする人がたくさんいます。最近ではCSR(企業の社会的責任)を通じて「寄付」を行う企業も増えてきています。では、なぜ彼らは「寄付」をするのでしょうか？それは「寄付」に社会を変える力があるからなのです。そんなまさか～と思ってしまいますが、そのまさか、実際「寄付」によって変えられた社会の歴史があります。

寄付文化がないと言われている日本社会ですが、本当にそうなのでしょうか？「寄付」が持つ力とは具体的にどうということなのでしょう？この書籍は「寄付」に対する新たな考え方、価値観を提供してくれます。(中瀬)

認証した特定非営利活動法人

(2014年3月10日～2014年4月9日認証分)

①法人名②主たる事務所の所在地③活動分野④認証年月日⑤代表者

①特定非営利活動法人 三重模倣患者の会
②津市江戸橋2丁目174番地
③保健、その他
④2014年3月11日
⑤理事長 竹村 洋典

①特定非営利活動法人 ファリーヌ
②松阪市久保町1339番地5
③保健、まちづくり、環境
④2014年3月11日
⑤理事長 山口 恵子

①特定非営利活動法人 e-クオリティ
②鈴鹿市須賀1丁目26番16号
③環境、職業能力、その他
④2014年3月11日
⑤理事長 宮崎 健司

①特定非営利活動法人 Let'sスポーツわくわくらぶ
②亀山市関町中町423番地
③保健、社会教育、まちづくり、学術、災害、子ども、その他
④2014年3月24日
⑤会長 上田 佳士

①特定非営利活動法人 感謝の丸
②松阪市田原町218番地
③保健、その他
④2014年4月7日
⑤理事長 古田 晃大

認定(条例指定)した特定非営利活動法人

①法人名②主たる事務所の所在地③活動分野④認定日/有効期間⑤代表者

①特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター ②桑名市南魚町86番地
③保健、社会教育、まちづくり、観光の振興、農山漁村・中山間地域、学術、環境、災害、地域安全、人権、国際、男女、子ども、情報化社会、科学技術、経済活動、職業能力、消費者、その他、地域防災活動、障がい者の自立と共生社会、多文化共生社会
④2014年3月31日/～2019年3月30日
⑤小笠原 まき子、郷司 房夫、服部 則仁

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビクターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀) 地域活性化局(南勢志摩、紀北、紀南))/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

株式会社
阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。